

2014年4月21日

報道各位

コカ・コーラウエスト株式会社

～かけがえのない阿蘇千年の草原を未来へ～

## 阿蘇草原再生協議会へ寄付金を贈呈

水資源の持続的な活用に向けた活動を推進

コカ・コーラウエスト株式会社(本社:福岡市 代表取締役社長 吉松 民雄 以下当社)は、阿蘇の草原保全・再生に向けて活動を行っている阿蘇草原再生協議会(事務局:阿蘇市 会長:高橋 佳孝)に対し、2016年までの3カ年にわたって毎年100万円ずつ計300万円を贈り、草原の維持活動に協力します。これは、2013年まで3カ年にわたり行った第1期募金への協力を継続するもので、寄付金は草原の維持管理を目的とした野焼きや輪地切り、担い手作りを目的とした草原環境学習などに役立てられています。

当社では工場周辺の水資源となる森林を「さわやか自然の森」と名づけ、地方自治体やNPO法人と共同管理契約を締結し、水資源の持続的活用を目指した取組みを進めています。その一環として、2006年から阿蘇市黒川地区においては、約8ヘクタールの山林に約6,000本の広葉樹林を植樹し、現在は下草刈りや枝打ちなど育林活動を行っています。

阿蘇の草原は、6本の一級河川の源流域にあたり、約230万人もの人々の暮らしや産業活動を支えています。その草原が、野草地の荒廃や減少により地下水を蓄える保水機能が低下していること、景観劣化により観光に影響を及ぼしていることなど、阿蘇の草原が抱えている様々な問題の一助となり、また当社が目指す水資源の持続的な活用に向けて、協議会様とともに活動を続けて参ります。

つきましては、下記日程にて贈呈式を執り行いますので、ご取材頂けましたら幸いです。

### ◆ 寄付金贈呈式 ◆

- |       |   |             |
|-------|---|-------------|
| 【期日】  | 平成26年4月25日(金)                             | 15:00～15:20 |
| 【場所】  | 熊本県庁行政棟本館5階 知事応接室<br>熊本市中央区水前寺6丁目18-1     |             |
| 【受贈者】 | ■阿蘇草原再生協議会                                | 会長 高橋 佳孝 様  |
| 【立会人】 | ■熊本県                                      | 県知事 蒲島 郁夫 様 |
|       | ■阿蘇草原再生千年委員会                              | 委員長 坂本 正 様  |
| 【贈呈者】 | ■コカ・コーラウエスト株式会社<br>取締役 専務執行役員 竹森 英治(ひではる) |             |

## 阿蘇草原再生協議会の設立

阿蘇の草原は、多くの人々に恵みをもたらしているかけがえのない資産です。長い間「放牧」、「採草」、「野焼き」など地域の人々の生業により維持管理されてきましたが、今、危機的な状況にあります。

野草地の維持管理や草原環境の保全には、多様な主体による長期的な取り組みと、多くの主体が共通の認識を持った上で連携していく必要性があります。このため、自然再生推進法に基づく手続きを踏まえ、自然再生協議会を設置しようとの機運が高まり、牧野組合や活動グループ、行政、研究者など103の個人および団体の参加により、平成17年12月2日に「阿蘇草原再生協議会」として発足しました。平成24年9月現在、224団体・法人及び個人が参加しています。

## 阿蘇草原再生基金の仕組み

阿蘇草原再生協議会では、幅広い人々の力で阿蘇の草原を守っていくための仕組みの1つとして、阿蘇草原再生基金を創設しました。

### ① 基本的考え方

- 阿蘇の草原の恵みを享受する不特定多数の人々に呼びかけ、「広く」「薄く」「継続的」に協力を得る
  - 立ち上げから3年間で第1期として、企業や団体からの大口の協力を得る。
- ※ 第1期:平成22年11月15日～平成25年3月(3年間の目標額:1億円)

第2期:平成25年4月～平成28年3月(3年間の目標額:1億円)

### ② 基金の使い方

集まった基金は、草原再生に向けて協議会構成員が行う様々な活動を促進し、さらに展開していくために活用します。

なお、具体的な支援は、行政関係機関等による施策・事業でカバーできない事柄に活用することを基本とします。

### ③ 基金運営体制

基金の運営については、新たに「基金事務局」及び第三者により構成する「基金委員会」を設置し、それぞれが役割を果たしていきます。

